

## 臨床研究

「精神神経疾患における脳画像—体液バイオマーカー相関に関する多施設連携研究」について

筑波大学附属病院精神神経科では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

### ① 研究の目的

精神神経疾患において、発症早期から病理変化や神経障害の程度を反映するバイオマーカーの開発が求められています。本研究では既に信頼性の確立された PET 検査などの脳画像バイオマーカーに基づいた体液バイオマーカーを探索することにより、より高い信頼性を有する体液バイオマーカーを開発することを目指します。脳画像バイオマーカーと血液バイオマーカーの開発研究を相互促進的に進めることが重要と考え、他の機関と連携することで（「多施設連携」と呼びます。）、再現性・信頼性の高い検証を行うことを目的としています。

### ② 研究対象者

筑波大学附属病院精神神経科に外来や入院で治療を受けている、あるいは精神科デイケアに通所中である患者で、軽度認知障害および認知症・神経変性疾患患者（アルツハイマー型認知症、大脳基底核変性症、進行性核上性麻痺、前頭側頭葉変性症、パーキンソン病およびレビー小体型認知症、牟婁病、筋強直性ジストロフィー、石灰沈着を伴うびまん性神経原線維変化症、特発性正常圧水頭症、筋萎縮性側索硬化症、多系統萎縮症）、頭部外傷患者、精神疾患患者と診断される方

### ③ 研究期間

倫理審査委員会承認後～2025年3月31日まで

### ④ 研究の方法

以下の検査について、6ヶ月以上の期間を空けてフォローアップ検査を行い、これらについての縦断的評価を行います。

脳 MRI 画像、タウ PET、アミロイド PET、認知機能検査、神経学的診察

### ⑤ 試料・情報の項目

一般調査（身長、体重、発達歴、教育歴、現病歴、生活状況など）、頭部 MRI 画像検査、頭部 PET 画像検査（アミロイドトレーサー、タウトレーサー）、認知機能検査

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

本研究で得られた試料・情報は、個人情報を匿名化した形で国立研究開発法人量子化学技術研究開発機構に提供します。

⑦ 試料・情報の取り扱いについて

本研究で得られた資料・情報は、下記の研究で使用することがあります。

「日常生活動作から得られる特徴量を用いた認知症のスクリーニング法の開発 (H29-065)」

「認知症スクリーニング手法の開発 (R01-137)」

「人間ドック受診者の認知機能および行動特徴に関する観察研究 (R01-168)」

⑧ 試料・情報の管理について責任を有する者

筑波大学医学医療系 精神医学 新井哲明

⑨ 研究機関名および研究責任者名

筑波大学医学医療系 精神医学 根本清貴

⑩ 共同研究機関名

国立研究開発法人量子化学技術研究開発機構

⑪ 本研究への参加を希望されない場合

患者さんやご家族が本研究への参加を希望されない場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑫ 問い合わせ連絡先

筑波大学附属病院：〒305-8576 茨城県つくば市天久保 2-1-1

所属・担当者名：筑波大学医学医療系 精神医学 根本清貴

電話：029-853-3182 (平日 10～17 時)